

石城登山教室実技登山「飯豊山」

2017年7月15日(土)～16日(日)

参加者 受講生 太、山縣、菊池、松本、松崎

会 員 秋葉、下山田、渡辺(敏)、馬場、甲高、志尾崎

15日 川入から入山予定でしたが3日間、天候が悪い予報だったので、剣ヶ峰を避けて大日杉から入山しました。

天候は日差しはないものの、テント泊なので重いザックを背負っての登りは、かなり蒸し暑く汗を絞り取られる。長之助清水で水を補充し、地藏岳をみざすヒメサユリ、ニッコウキスゲ、その他の花が可憐に咲いていて心がなごむ。

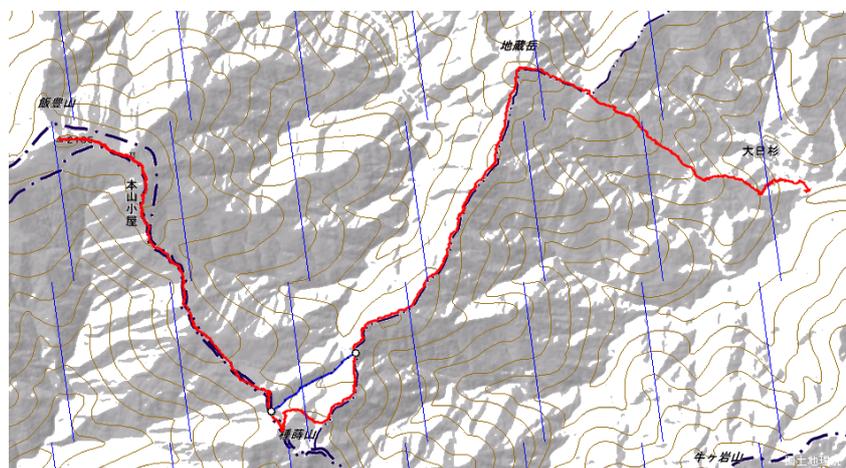
地藏岳を過ぎ、目洗清水で渡辺(敏)さんが雪渓の下まで降りて、みんなの水を確保して、御沢分かれから雪渓コースに入る。

雪渓の中は涼しく、全員元気がよみがえった様に見える。切合小屋に出るルートは急斜面なので、

そのまま直登する雪渓が切れてからは数メートルの藪漕ぎで、受講性のみなさんは初めての経験なので苦戦して登山道に入り、10分ぐらいで切合小屋に到着。

4人用、8人用のテントを張り、全員で乾杯。ガスが切れると大日岳が見え、夕方には稜線の美しいシルエットが見えました。

大日杉 8:10→地藏岳 12:20～45→御坪 15:15→切合小屋 16:40



16日 大日岳ピストンの予定でしたが、午後から雨の予報なので、飯豊山のピストンに変更して早朝に出発し御前坂の手前で朝食。

本山小屋の手前にはイデリンドウの看板が有り、まだつぼみの花を見れて飯豊山に到着。眺望はまったくくないが、記念撮影して下山。

テントを撤収して歩きはじめると、すぐに雨が降ってきて雨具を着る。雪渓コースを避けて一般道に行く、雪渓を3回トラバースして御沢分れに着くころには、



ますます雨足が強くなる。

雨具を着ていてもびしょ濡れ、登山道には水があふれ歩きづらい。ザンゲ坂の鎖場は滝のようになっていて、全員降りるのにかなり時間がかかったが、全員無事に大日杉小屋に到着し本日は小屋泊。

切合小屋 4:40→御前坂 6:10～25→飯豊山 7:40→切合小屋 10:15～11:00→御坪 12:20～30→地藏岳 14:20→大日杉小屋 17:15

(文責：馬場)

大佐渡山脈縦走（石城登山教室）

期 日：2017年6月24日(土)～25日(日)

参加者：教室7名、会員12名 計19名

6月24日(土) 晴れ

磐越道の集中工事がAM6:00までとの情報を受け、時間調整しながら予定通り新潟港へ着く。天候は上々、波も高くなくジェットfoilも快適だがエンジン音が多少うるさい。両津港から白雲台まではマイクロバスだが、大佐渡スカイラインの勾配はきつい。

登山口から早々に出発したが、標高の割に風が少なく蒸し暑い。左手に妙見山の新型レーダーサイトを見ながら舗装された道を。遠くに見える旧レーダーサイトがある金北山へ向かうが、風が少なく暑く日陰が恋しい。金北山へ着くとドンデン山荘から早朝6:00に出て11:30に着いたという1人の若者が休んでいた。

昼食後、本格的に縦走路の山道に入る。カエルの声が聞こえるあやめ池を過ぎ天狗の休場へ。ここでも4人の登山者と出会う。この辺から足元は小石が点在し要注意だ。イモリ平付近に来ると左側の沢からの風が気持ちいい。石花越分岐を過ぎ縦走路が大きく曲がるマトネへ着く。ここからは樹木の中をアオネバ十字路へ向かう。ドンデン山荘までは残り1.2kmの登りの舗装道路できつかったが、着くと生ビールが待っていて渴いた喉を潤した。

6月25日(日) 曇り

天気予報を見ると、午後から雨とのことなので多少足早に歩き始める。ドンデン高原から海上を見ると多少雲が下方にたまっていた。論天山付近に来ると小雨がパラパラと降ってきたが気になる程ではない。ここから雪畑山分岐までは比較的平坦な縦走路で、途中で小さな湿原が時々見られた。分岐から金剛山の登りにかかるとアリが山道に多くいてちょっと先が不安になった。頂上には神社の祠があり、お祈りをして早々に下山にかかる。

途中の金剛山で休憩を取りたかったが回りも山道にもアリ塚が点在していて腰を降ろせる状態でなかったので、三左衛門横道付近まで下って昼食をとることができた。

ここから終点の白瀬登山口までは2km程の下りだ。時間的には早々と着いたが全員無事下山できて良かったと思いました。ご

苦労様でした。

コースタイム 6月24日(土) いわき合同庁舎4:00⇒新潟港7:30⇒両津港9:00⇒白雲台登山口10:00⇒金北山12:00⇒ドンデン山荘17:00

6月25日(日) ドンデン山荘7:00⇒ドンデン高原～金剛山11:00⇒白瀬登山口13:30⇒両津港14:30～16:25⇒新潟港17:30⇒いわき合同庁舎21:00

(文責：大和田)



報告 北八ヶ岳・北横岳

2017年7月23日～24日 秋葉、下山田他 10名

夢想山の会の7月月例山行に参加。1日目は小雨、展望は全く無かった。三ツ岳を三峰、二峰、一峰の稜線は雨に濡れ、強風に吹かれ、巨岩の間を辿りその後は急下降、結構緊張の要する所でした。縞枯山荘は管理人ご夫妻の人柄を感じさせるアットホームな小屋で、楽しい一夜を過ごすことができました。

2日目は、雨は降らなかったもののガスで展望は全くありませんでしたが、オオシラビソの樹林帯を歩く北八の良さを感じられた山行でした。佐久で入浴帰路につく。



7月23日(日) いわき 5:00⇒北関東道⇒上信越道南佐久IC
⇒ピラタスロープウェイ山麓駅 10:30～11:00⇒山頂駅
11:40⇒坪庭⇒北横岳ヒュッテ⇒北横岳⇒三ツ岳⇒雨池山→

雨池峠⇒縞枯山荘 15:50
7月24日(月) 縞枯山荘 6:00⇒縞枯山⇒茶臼山⇒大石峠→
麦草峠 9:00⇒⇒いわき 17:00

(文責：秋葉)

芝山

2017年7月4日(火)

秋葉

芝山(819m)はいわき市、平田村、古殿町にまたがっており車道が頂上直下まで通っており、キャンプ場等もあり家族でのハイキングには最適の山だ。登山の対象とはなり難いが、近くに馬揚山風力発電が計画されており、間もなく風況調査のタワーが立てられるので、その前の景観を確かめておきたいと思い7月4日に30数年ぶりに行ってみました。

芝山からの眺望、左から塩見山、雨降山、馬揚山。ここに10～18基の発電機が建てられる計画。3km以内に多くの人家があり、低周波振動による健康障害が多発することが危惧される。

(文責：秋葉)



⇒その後、遠野風力発電の配慮書が縦覧されていることがわかりました。縦覧は7月28日～8月28日まで。外資系の企業。鶴石山から国道49号線にかけ3500kw級が27基、三大明神風力発電と隣接、馬揚山風力発電と一部かぶっています。往生山も含まれています。人家も多く甚大な被害が予想されます。

ネットでの見方：いわき市観光企画課 環境影響調査 遠野風力発電環境影響調査配慮書と入る。